

近代スポーツとして OWS が注目される 1 つのきっかけは 1875 年、マシュー・ウェブが英仏海峡を単独で泳ぎ切ったことだとされている。しかし、競技としての OWS が盛んに行われるのは 1980 年代であり、FINA がオープンウォーターにおける豪州の水泳大会を基礎に競技規則を作成、整理したことによる。1991 年より世界水泳選手権の正式種目に、2008 年よりオリンピックの正式種目となった。オリンピックの正式種目化は、競泳選手の流入（高速化）と世界的な競技の広がり（グローバル化）を加速させた。現在、日本における OWS は、ジュニア選手からの強化育成が行われていない。これは年代別チャンピオンシップの欠落に合わせて、競泳関係者の理解不足、練習及び大会環境が十分に整備されていないことが要因ではないかと私は考える。OWS 指導員による技術指導、自然環境練習時の安全管理体制の拡充、競艇場等を活用した年代別、競技レベルに応じた大会開催が必要である。